

研究成果の刊行に関する一覧表（2020-2022 年度）

論文

1. Imai K, Sone H, Otomo K, Nakano Y, Hinoshita F: Quality of life and pain in patients with thalidomide embryopathy in Japan. *Molecular Genetics & Genomic Medicine* Vol8,11: 2020 Nov; 8(11):e1464. doi: 10.1002/mgg3.1464., 2020

総説

1. 日ノ下文彦: サリドマイド薬害事件（前編）. 第5回公衆衛生タイムマシン ～形を変えて繰り返す歴史から学ぶ～. *公衆衛生情報* 52(7); 14-15, 2022
2. 日ノ下文彦: サリドマイド薬害事件（後編）. 第5回公衆衛生タイムマシン ～形を変えて繰り返す歴史から学ぶ～. *公衆衛生情報* 52(8); 12-13, 2022

書籍

1. Tetsuya Tagami, Nirou Tayama, Ryoji Kayamori, Emma Baple, Hiroshi Handa, Fumihiko Hinoshita, Hiroyuki Nagase, Jan Schulte-Hillen, Nobuhiko Haga, Shadi-Afarin Ghassemi, Klaus M. Peters, Dee Morrison & Elizabeth Newbronner, Christina Ding-Greiner, John Skinner, Lavinia Schuler-Faccini: *Proceedings of the 2nd International Symposium on Thalidomide Embryopathy in Tokyo* (edited by Fumihiko Hinoshita). 1-159, 2020
2. Ryoji Kayamori, Takumi Ito, Yuki Yamaguchi, Hiroshi Handa, Tomoko Shiga, Tetsuya Tagami, Fumihiko Hinoshita, Hiroyuki Nagase, Nobuko Shiga, Takama Maekawa, Nobuhiko Haga, Yasuhiro Maehara, Takeshi Kobayashi, Junko Fujitani, Hiroji Tsujimura, Shin-ichi Shirahoshi, Tsuyoshi Tajima, Azusa Minagawa, Masafumi Shinozaki, Jun Harada, Niro Tayama, Yutaka Maruoka, Miyuki Nagahara, Ken Otomo, Hanae Sone, Yuki Nakano, On Kato, Keiko Tanaka, Chika Kuge: *2020 Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy*. 1-101, 2021
3. 栢森良二. サリドマイド復活した「悪魔の薬」. 栢森良二編. (株)PHP エディターズ・グループ出版, 1-298, 2021

小冊子

1. 日ノ下文彦、長瀬洋之、田上哲也、丸岡豊、藤谷順子: 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の基本的知識と生活上の対応ーサリドマイド被害者の皆様へー. 厚生労働行政推進調査事業「サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築」研究班発行, 1-16, 2021
2. 田辺晶代、長瀬洋之、丸岡豊、田上哲也、藤谷順子: 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の基本的知識と生活上の対応ーサリドマイド被害者の皆様へー（第二版）. 田辺晶代編. 厚生労働行政

推進調査事業「サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築」研究班発行、1-18, 2022

- 田辺晶代、長瀬洋之、丸岡豊、田上哲也、藤谷順子: 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の基本的知識と生活上の対応—サリドマイド被害者の皆様へ— (第三版). 田辺晶代編. 厚生労働行政推進事業「サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築」研究班発行、1-26, 2023

学会発表

- Kobayashi T, Fujitani J, Maehara Y, Fujiwara S, Haga N. Health status of thalidomide embryopathy in Japan—the survey results—. 18th WFOT Congress, Paris+オンライン, 2022.8
- 小林毅、藤谷順子、藤原清香、芳賀信彦: サリドマイド胎芽症者の現状—主観的な健康状態とその対応—. 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会, 横浜, 2022年6月
- 上村千尋、藤谷順子、松村倫、藤本雅史、早乙女郁子、藤原清香: サリドマイド胎芽症3名の体幹・上肢骨格CT所見. 第78回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会, 東京+オンライン, 2023年3月

マスメディア

- 7月9日 東京新聞

健康

「すこやかゼミ」

サリドマイド薬害の今

中年になり健康に懸念

海外では新たな被害者も

項目	サリドマイド胎芽症の人	一般人
日常生活動作(歩行、洗澡、着脱など)	3.4	2.0
外出	2.8	1.8
仕事・家事	6.2	5.8
運動	11.0	4.5
その他	5.8	1.8

その他サ症 (サリドマイド薬害) に関する新聞記事・発表

※記事内容については1.東京新聞と概ね同じ)

- 7月2日 日本海新聞 くらし サリドマイド薬害の今
海外では新たな被害者も 中年になり健康に懸念

- | | | | |
|-----------|--------|-----|---|
| 3. 7月 5日 | 千葉日報 | 健康 | 「すこやかゼミ」
サリドマイド薬害の今
中高年になり健康に懸念 海外では新たな被害者も |
| 4. 7月 6日 | 愛媛新聞 | からだ | 四肢や聴覚障害「サリドマイド薬害」
被害者今も健康懸念
病気やけが7割／診断基準 国作成 |
| 5. 7月 12日 | 長崎新聞 | 健康 | サリドマイド薬害の今
中高年迎え健康に不安も 海外では新たな被害 |
| 6. 7月 18日 | 岐阜新聞 | ライフ | 「すこやかゼミ」
1950年代のサリドマイド薬害被害者
年齢重ね 健康不安拡大 海外では新たに認定も |
| 7. 8月 1日 | 秋田さきがけ | くらし | 「医療」
厚労省研究班代表・日ノ下さんに聞く
サリドマイド薬害
被害者の健康、どう確保 高齢化、新たな認定も |